

作業事例集－紙に印刷された図案を切断加工する(Adobe Illustrator 編)

- ・本資料は、レーザー加工機が正常にセットアップされていることが前提になります。
- ・本資料は、RSD-SUNMAX シリーズ用制御ソフト LaserCut が正常にインストールされていることを前提にしています。
- ・本資料は、Adobe Illustrator CS2 を使用しています。

① 紙に印刷された図案を切断加工する

紙に印刷されたロゴや図面などのデザインデータを切断加工する場合の事例です。

彫刻を行う場合は、スキャナで紙面内容を取り込んだあと、モノクロビットマップ化し、LaserCut でインポートすれば、加工可能です(スキャナの精度により、細部の修正が必要となる場合があります)。

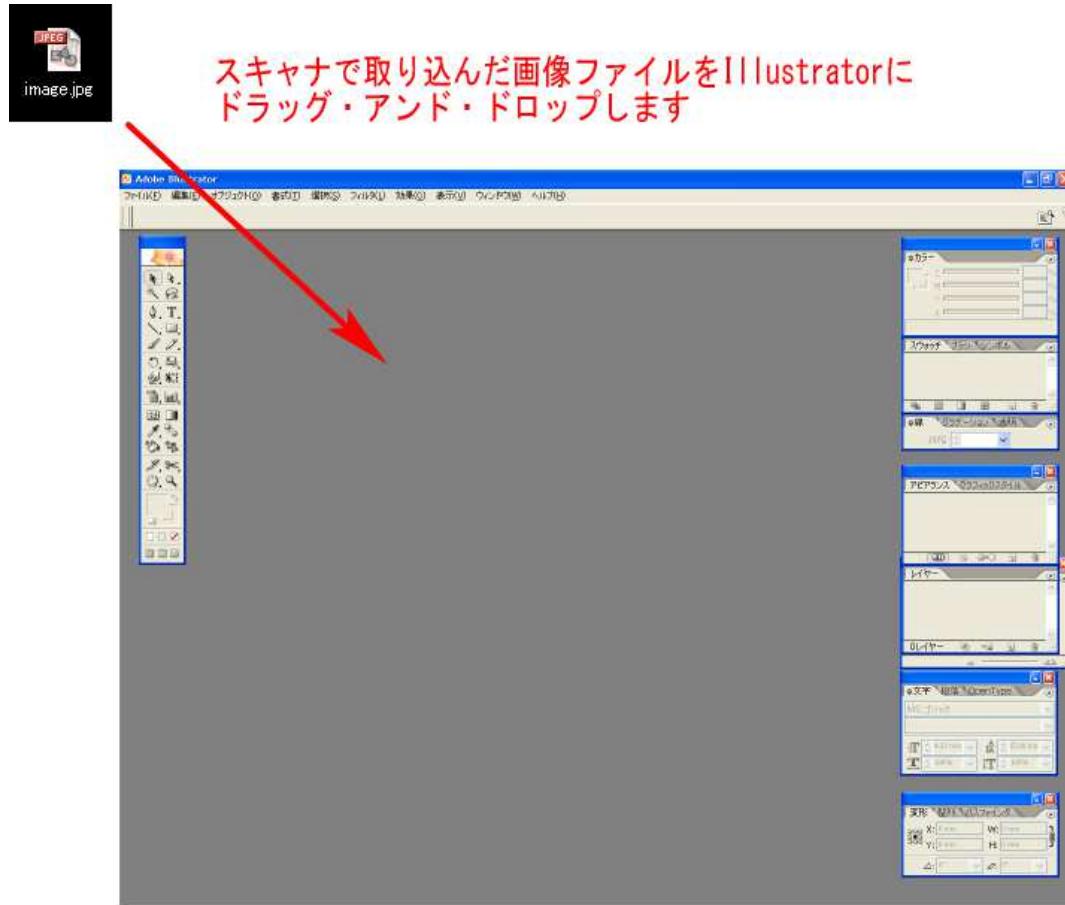
切断を行う場合は、スキャナで取り込んだ画像データを使用して、Adobe Illustrator を使ってパスデータを作成します。

② スキャナでデータ取り込む

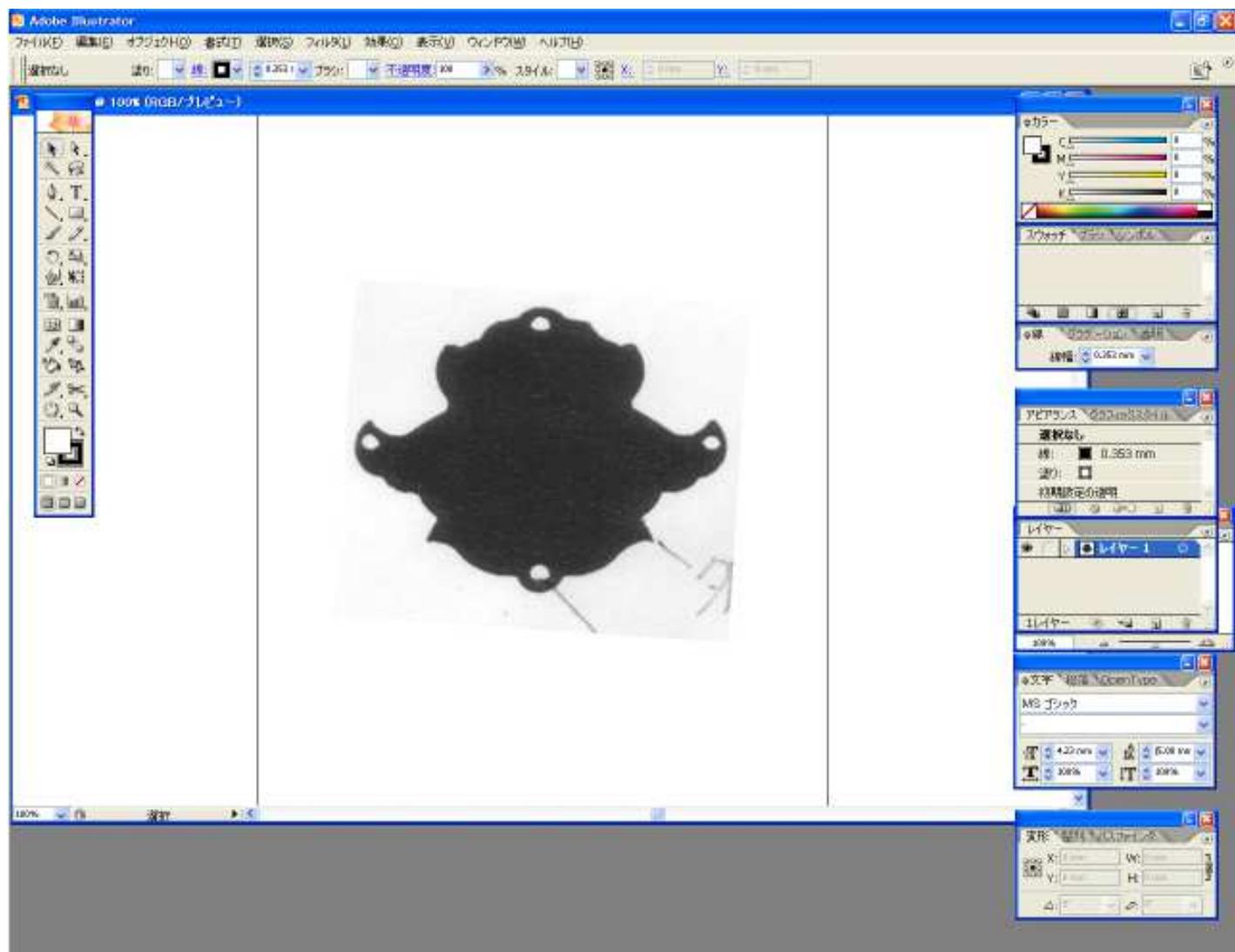
紙の図案をスキャナで取り込んでください。スキャナでの読み込みにつきましては、内容によって、ご使用の機種の設定に従ってください。一般的には 300dpi 以上の解像度で読み込みます。

③ Adobe Illustrator で読み込む

スキャナで取り込んだ画像データを Adobe Illustrator に読みませます。Illustrator のドキュメントがない部分にドラッグ・アンド・ドロップすれば、新規ドキュメントが作成され、画像データが表示されます。



Adobe Illustrator にスキャンデータが取り込まれました。



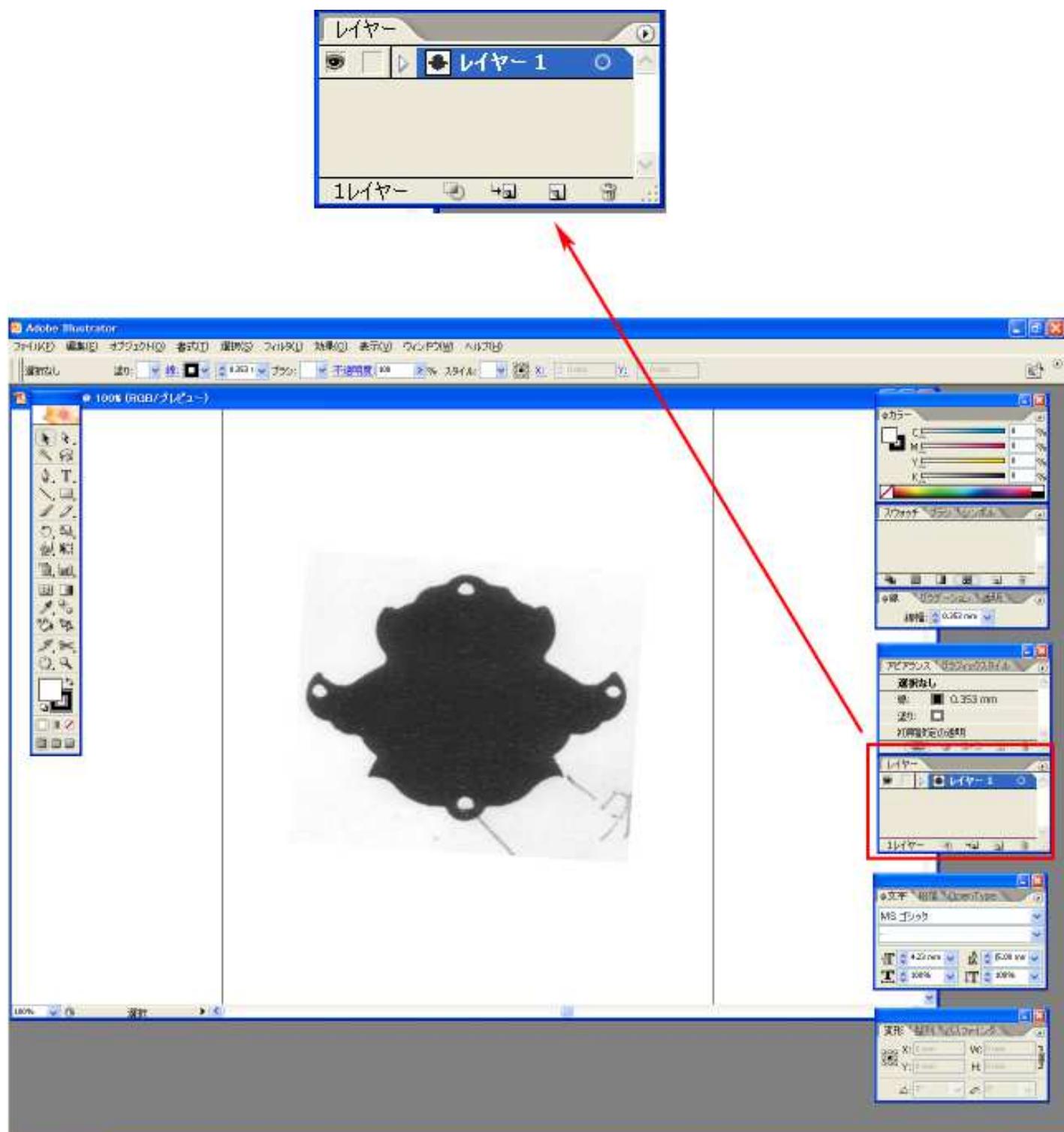
④ Adobe Illustrator パスを生成する

パスデータを作成する方法はいろいろとありますが、ここではもっとも初心者向けの方法で行います。

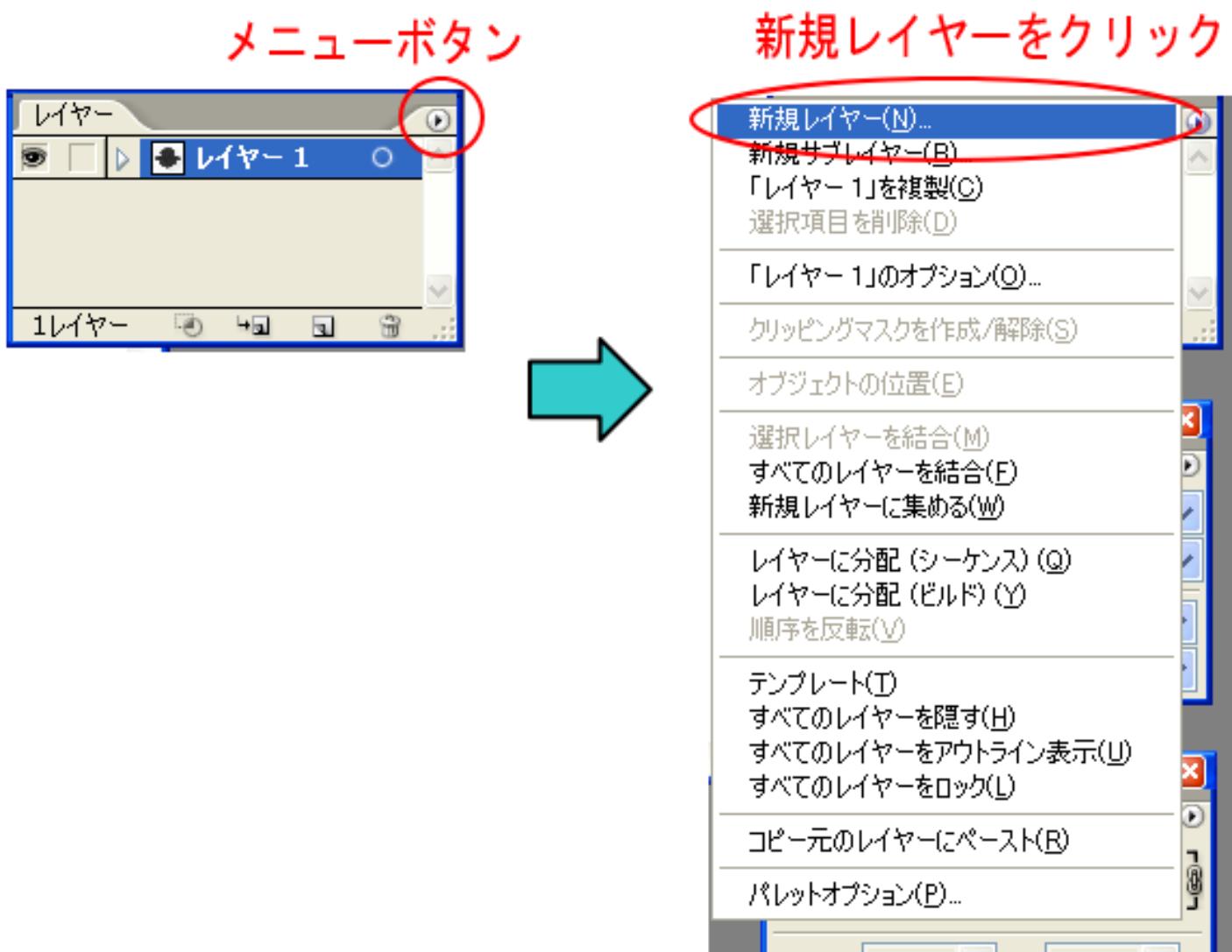
1. レイヤーを作る

パスデータ用のレイヤーを作成します。レイヤーはレイヤーペインで作成します。レイヤーペインが表示されていない場合は、メニューの「ウィンドウーレイヤー」をクリックして、表示させてください。

レイヤーペインが表示される場所は、下図と異なる場合があります。



レイヤーペインにあるメニュー ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。「新規レイヤー」をクリックしてください。



「レイヤーオプション」ダイアログが表示されるので、特に変更することなく、デフォルト表示のままOKボタンをクリックしてください。

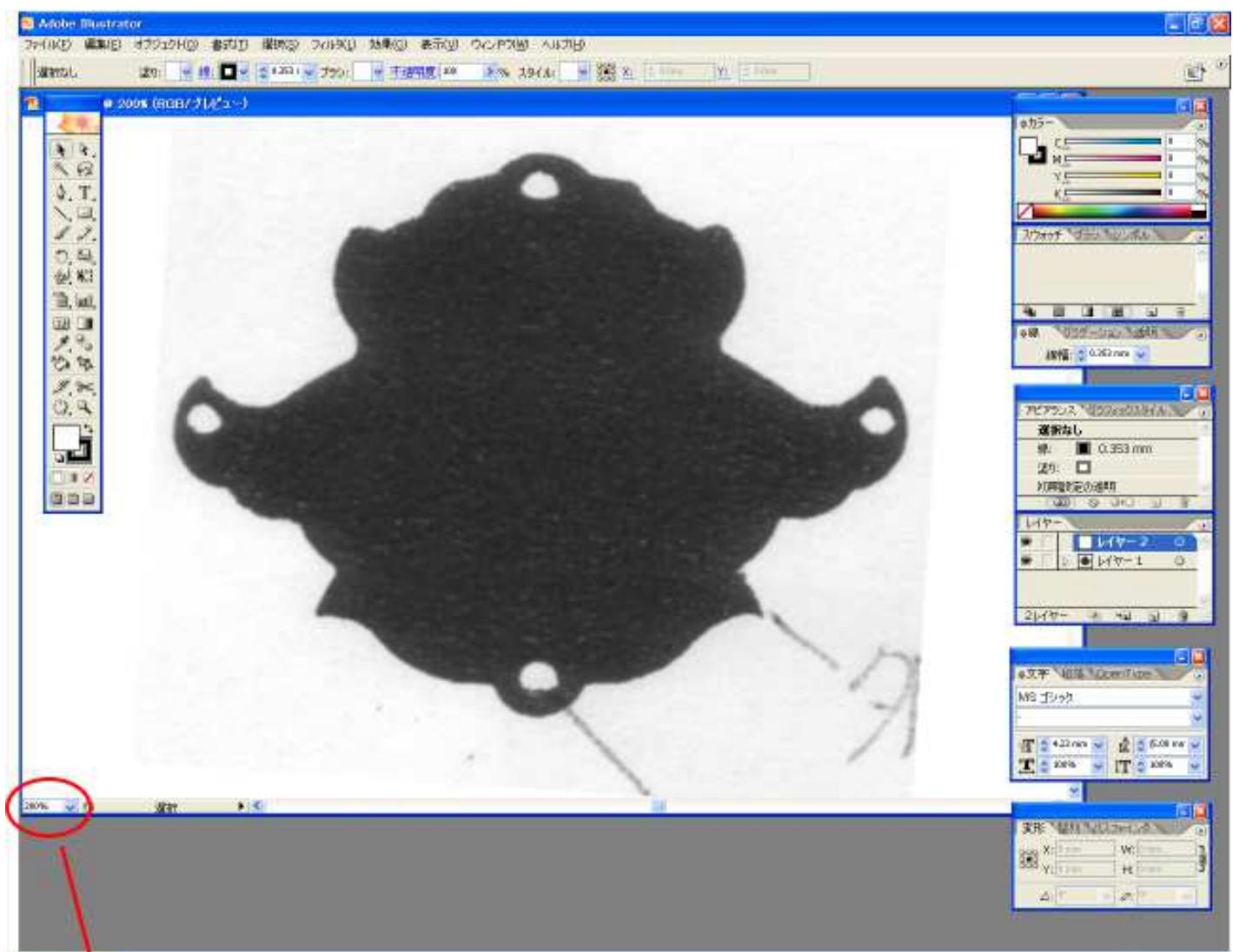


レイヤーペインにレイヤー2が追加されました。

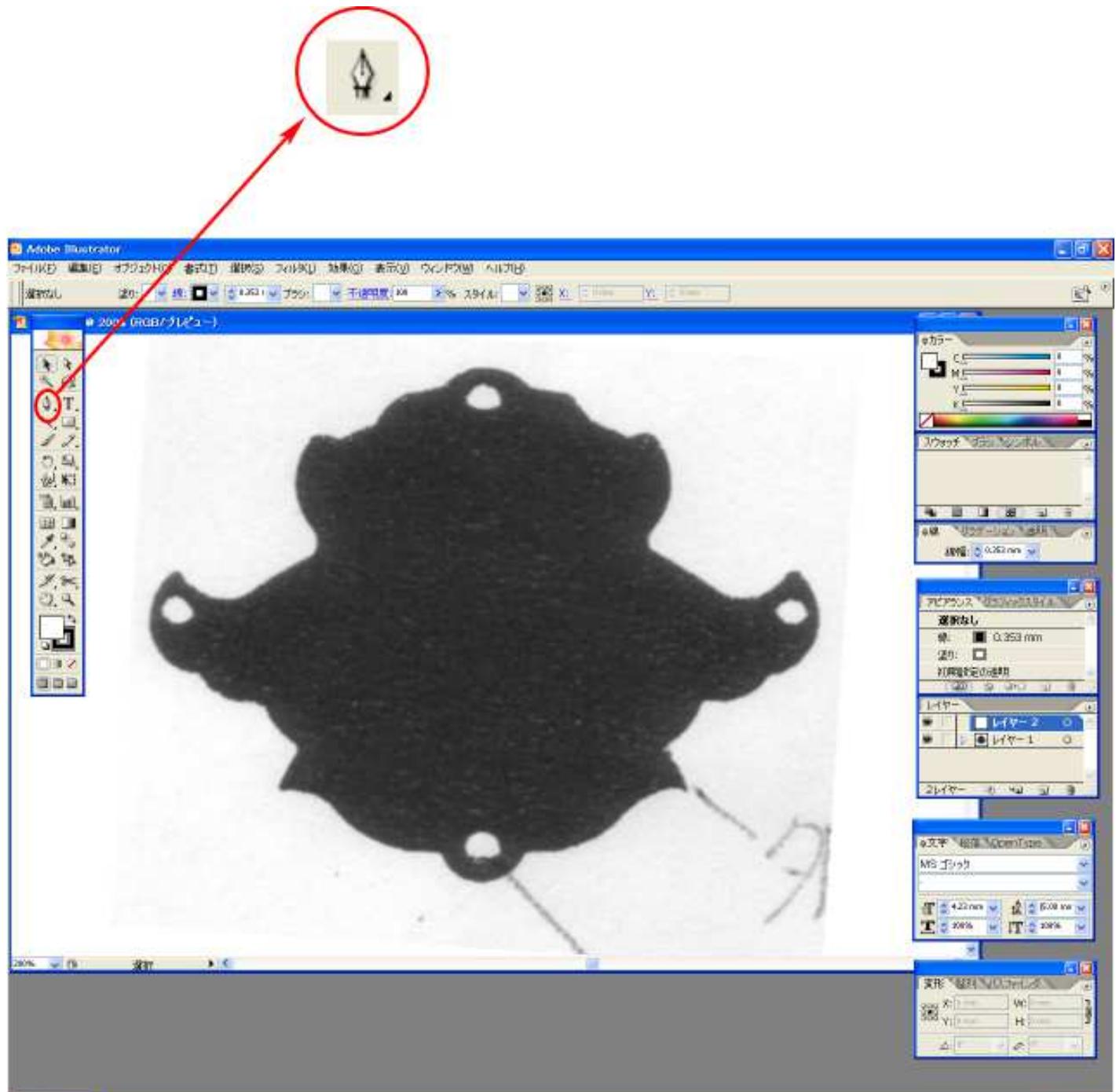


2. ペンツールで輪郭をトレースする

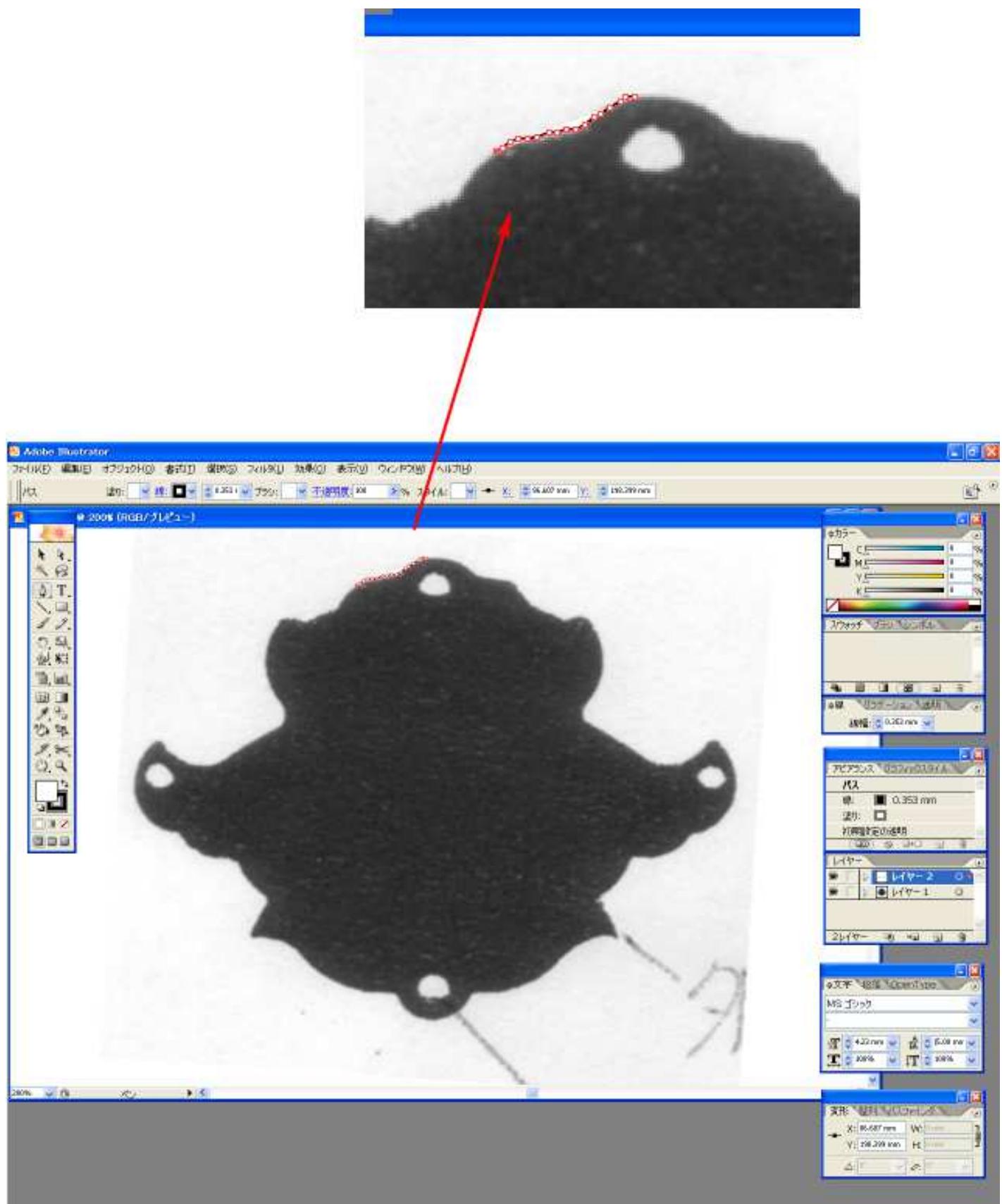
まず、表示倍率を見やすいサイズにします。倍率を大きめにするとトレースがしやすいです。



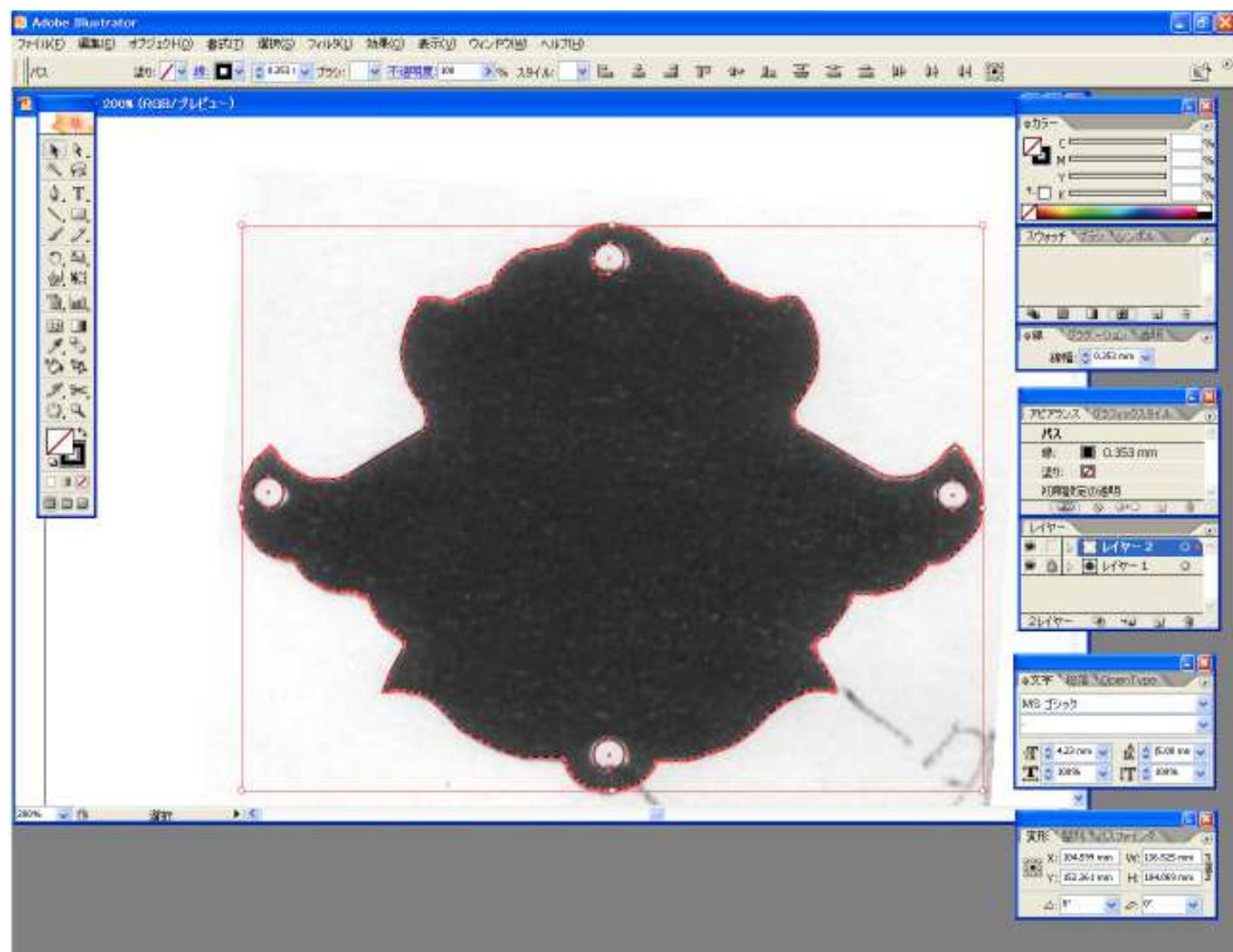
ツールペインのペンツールをクリックし選択します。



マウスカーソルがペンの形に変化するので、輪郭をなぞってクリックしています。

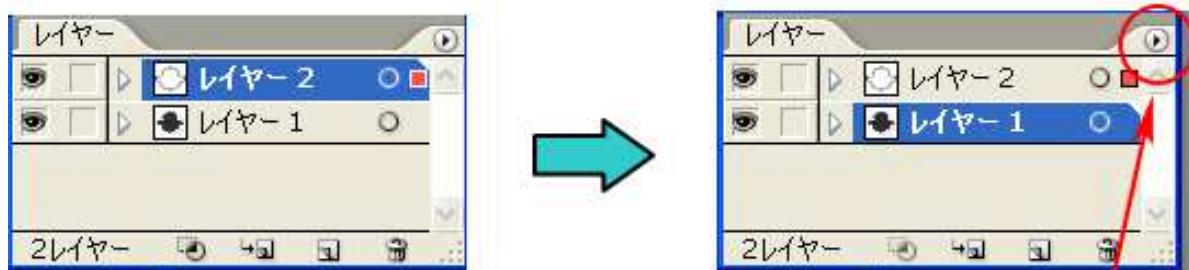


輪郭のペンの始点と終点が合うと、そこでトレースが終了し、次の場所のトレースが可能になります。
全ての輪郭をトレースします。

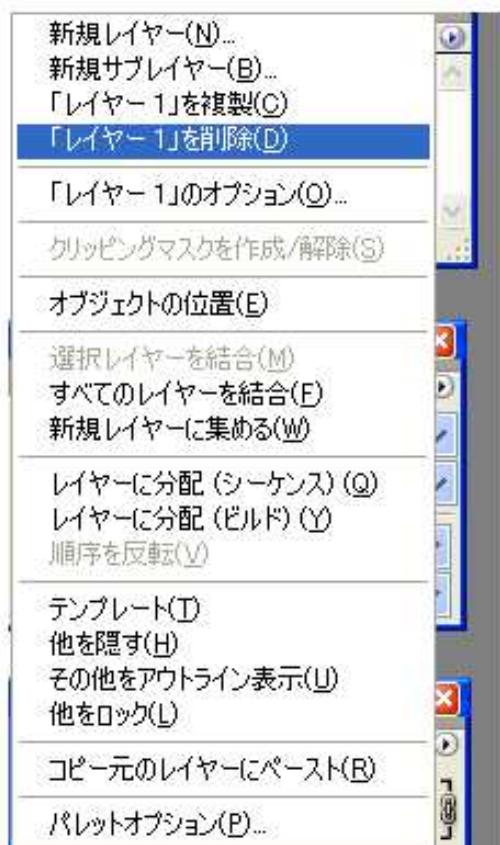


全ての輪郭のトレースが終わったら、レイヤーペインのレイヤー1を削除します。

レイヤー1をクリックして選択状態にする

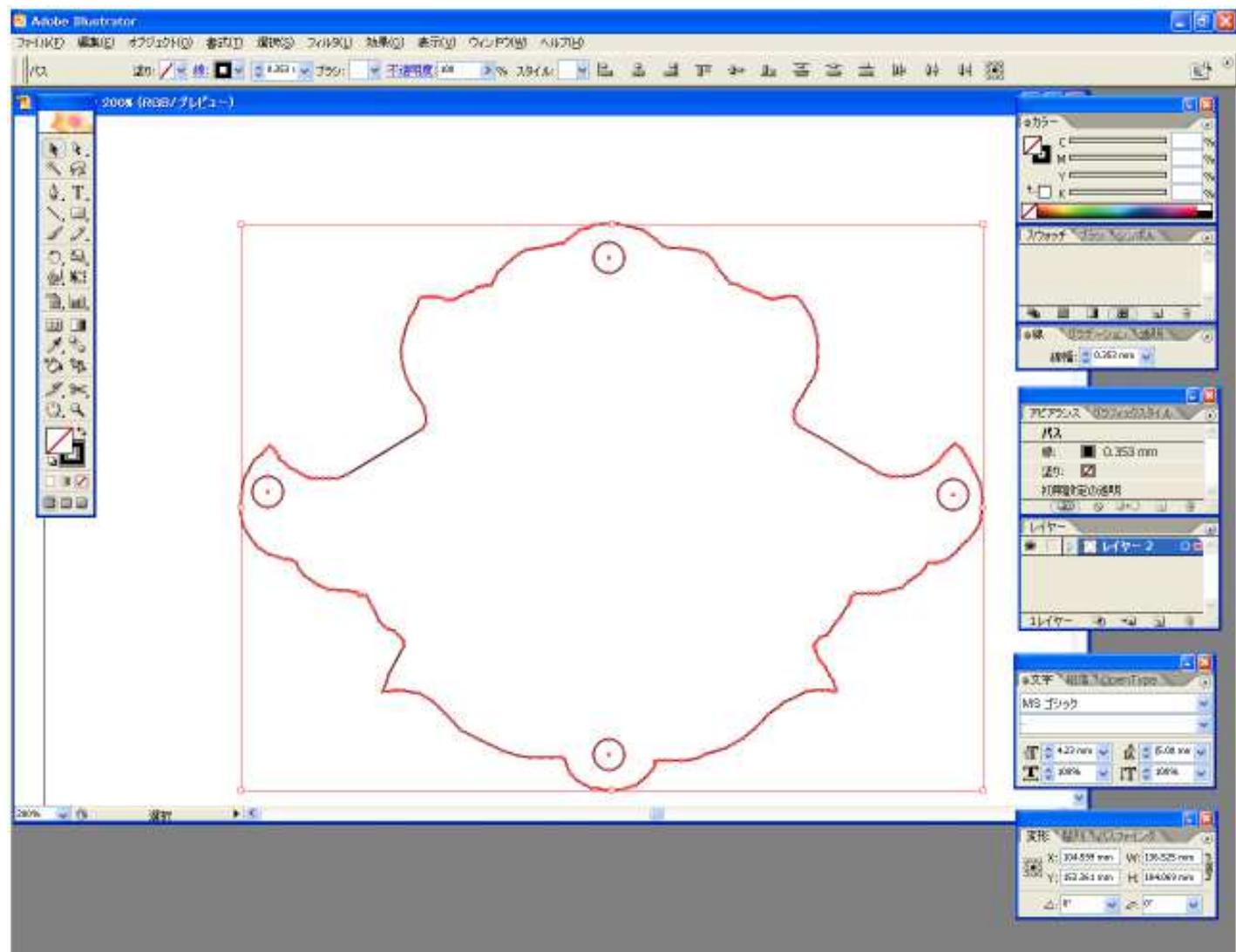


メニュー ボタンをクリックする



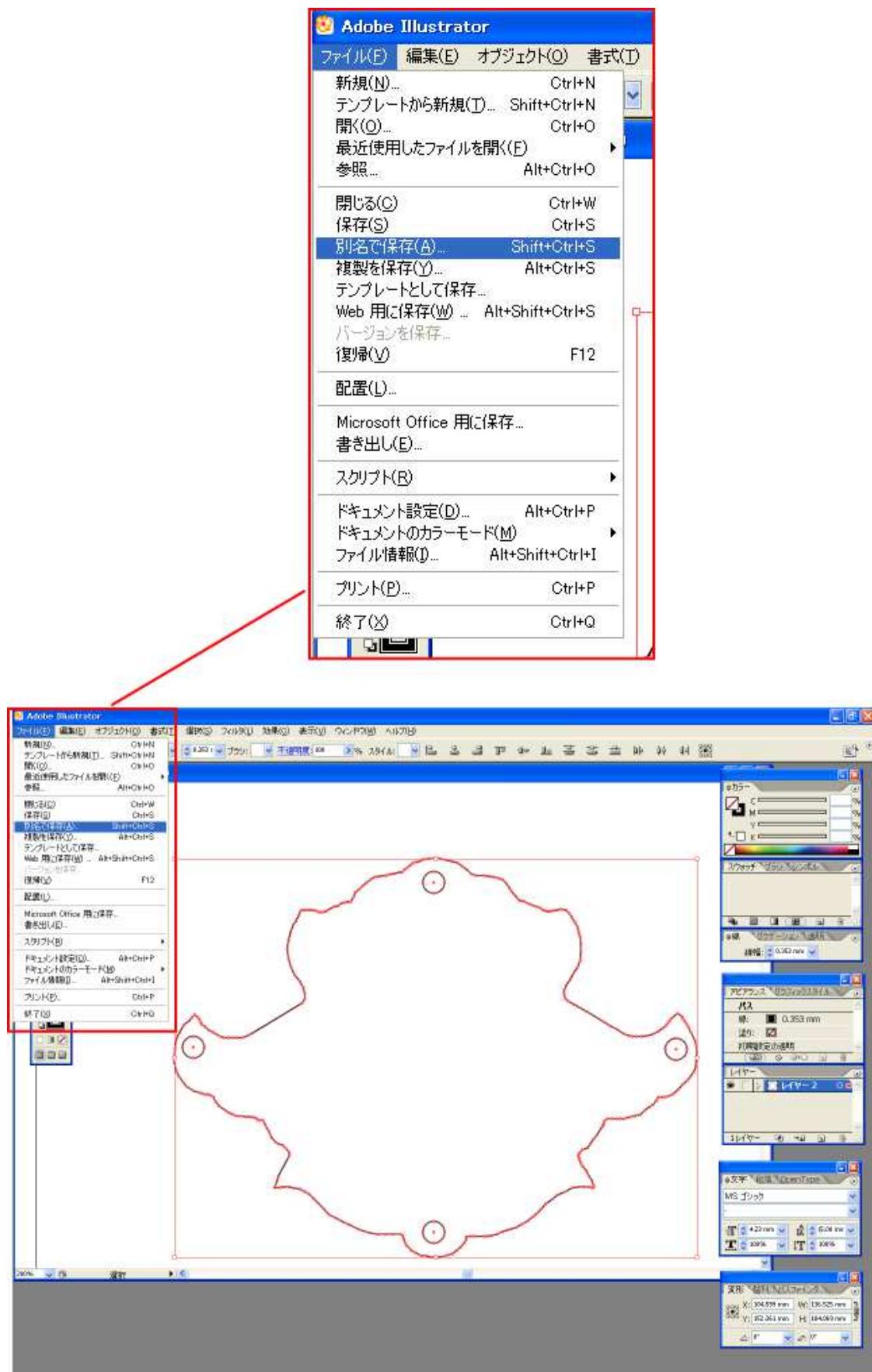
メニューの『「レイヤー1」削除』
をクリックする

これでトレースは終了です。



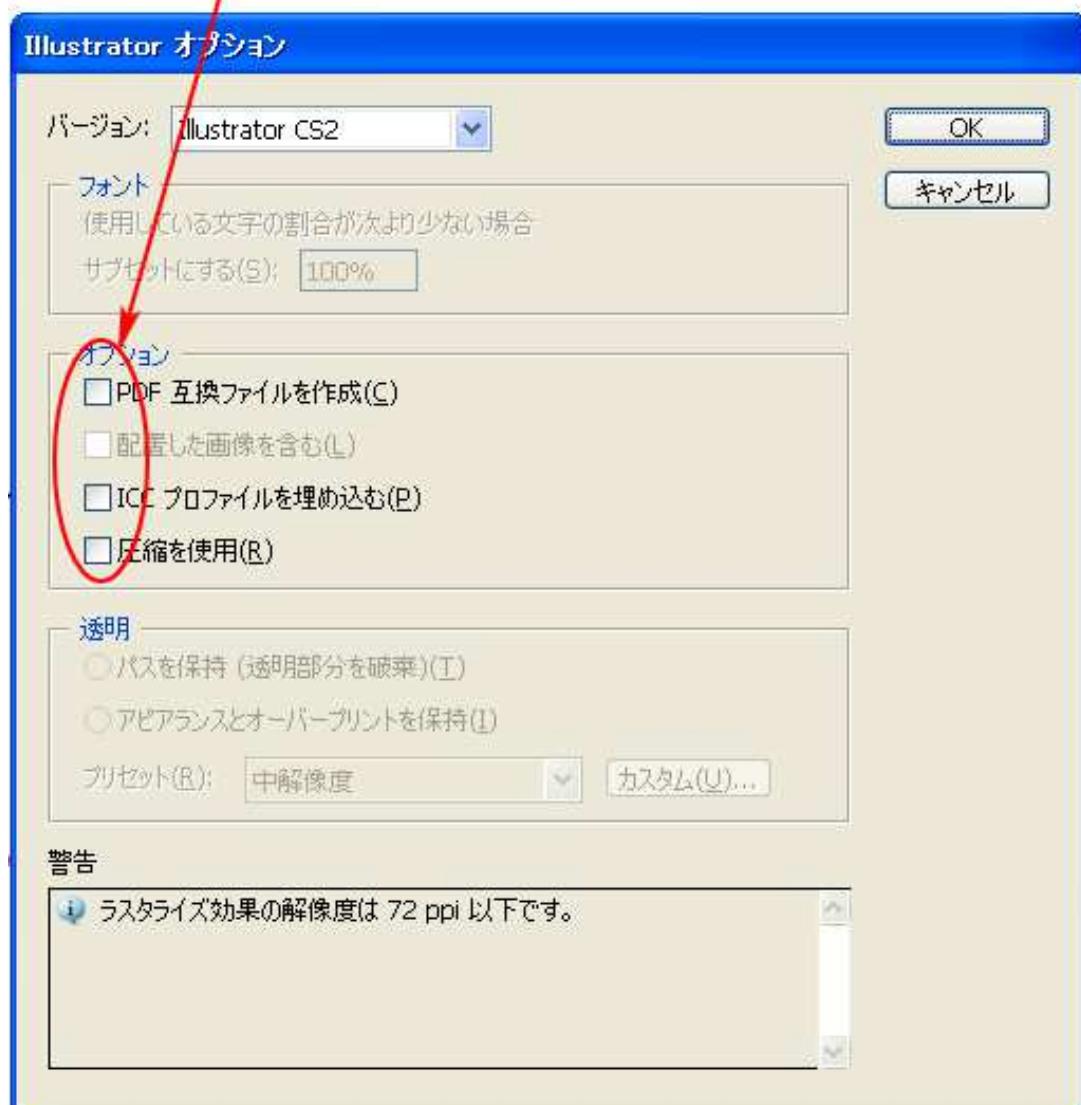
3. データを保存する

メニューの「ファイル-別名で保存」をクリックし、データを保存します。



保存時のオプションは、下図のように全てのチェックを外してください。

全てのチェックを外す



保存した Adobe Illustrator のデータファイルを LaserCut でインポートすれば、「紙に印刷された図案を切断加工する」が可能となります。